

全国47都道府県大調査

～ 社会情勢の変化と将来への備え ～



メットライフ生命 全国47都道府県大調査2025 ～ 社会情勢の変化と将来への備え ～

調査概要

調査対象 全国47都道府県に在住(調査実施時点)の20代～70代の男女

調査方法 インターネット調査

調査数 14,100人

調査時期 2025年5月30日(金)～6月3日(火)

※集計データの構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

※提示しているスコアについては、四捨五入の関係上、足し引きした場合に数値が増減する場合があります。



MetLife
メットライフ生命

メットライフ生命は、明るく豊かな人生のあり方や必要な行動を考える礎として、お金や健康、社会に関する意識や、消費行動や生活の傾向等を明らかにする定点調査を2018年から行ってきました。

8回目となる「全国47都道府県大調査2025 ～社会情勢の変化と将来への備え～」では、世界的に不確実性が高い中、相場の急変や物価上昇、NISAをはじめとした投資・資産形成への関心、AIの利用などにも着目して結果をまとめました。

これからも当社は、急速に変化し、多様化するお客さまのニーズを深く理解して商品やサービスに生かしながら、よりたしかな未来に向けて継続的な責任を果たすことを目指していきます。

目次

定点観測

お金について

■将来の不安とお金の準備に対する意識	P.3
■資産運用の意向と実施状況	P.4
■今後増やしたい金融商品	P.5
■相続についての意識・行動	P.6
■昨今の経済・社会情勢に対する意識と資産運用意向	P.7
■昨今の給与や賃上げに対する意識	P.8
■相場の急変時の投資に対する意識	P.9
■決済方法や財布の持ち歩きに対する意識	P.10

健康について

■怖い病気・がんへの不安	P.11
■介護とお金	P.12

教育について

■教育費に対する意識	P.13
------------	------

環境について

■環境コストへの意識	P.14
------------	------

2025年度トピック

AIの使用に関する意識について

■AIの使用に関する意識	P.15
--------------	------

マイナンバーカードについて

■マイナンバーカードに関する意識	P.16
------------------	------

推し活について

■推し活への意識	P.17
----------	------

47都道府県版	P.18～21
---------	---------

お金について

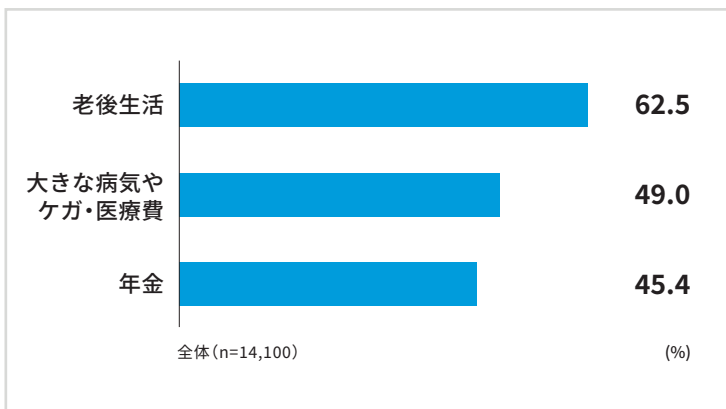
■将来の不安とお金の準備に対する意識



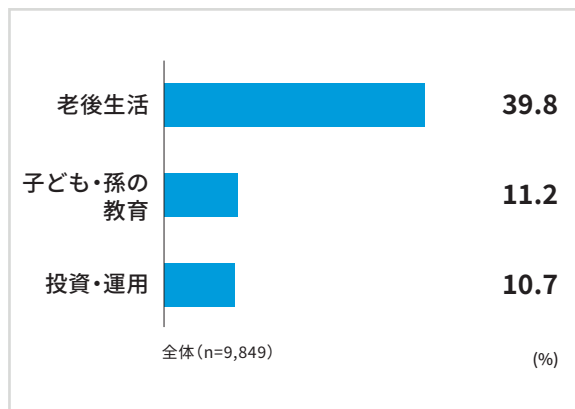
将来の不安、準備が重要と思うものは「老後生活」が最多

「将来の不安は何か」について聞いたところ、トップは「老後生活」62.5%で、「大きな病気やケガ・医療費」49.0%、「年金」45.4%と続きました。また、「お金を準備中、または予定しているものの中で最も重要と思うもの」は「老後生活」39.8%、「子ども・孫の教育」11.2%、「投資・運用」10.7%の順となっています。

自分の将来を見据えて不安に感じるもの



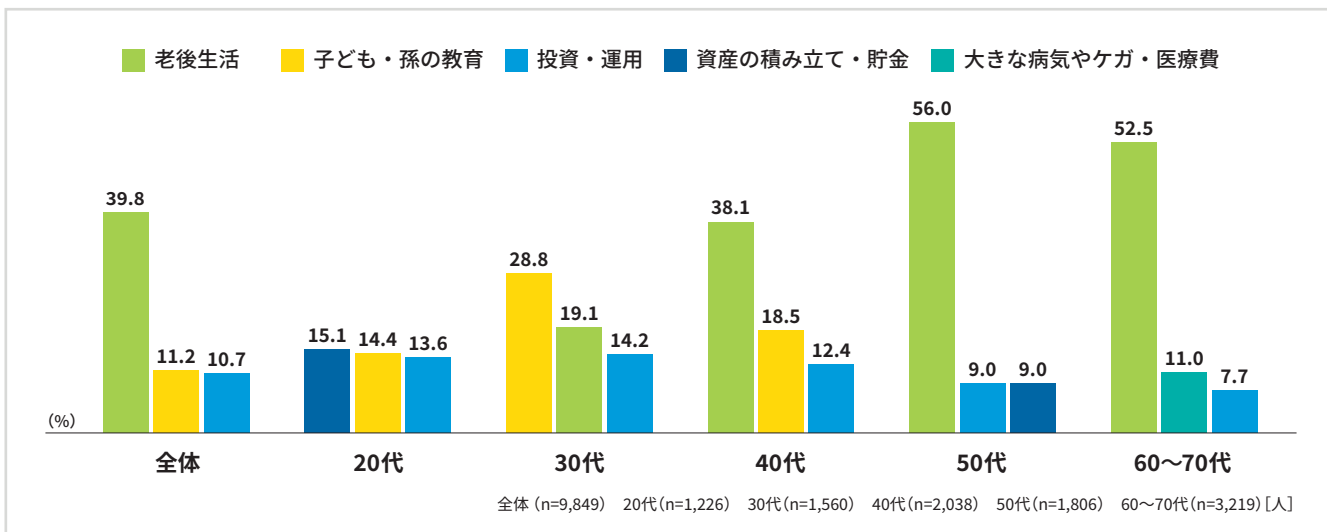
お金の準備が最も重要と思うもの



20代は「資産の積み立て・貯金」、30代は「子どもの教育」を重視

「最も重要と思うもの」について、20代は「資産の積み立て・貯金」「子ども・孫の教育」「投資・運用」が上位、30代は「子ども・孫の教育」、40代以降は「老後生活」がトップ。また「投資・運用」は、いずれの年代でも重要視されています。

お金の準備が最も重要と思うもの年代別TOP3



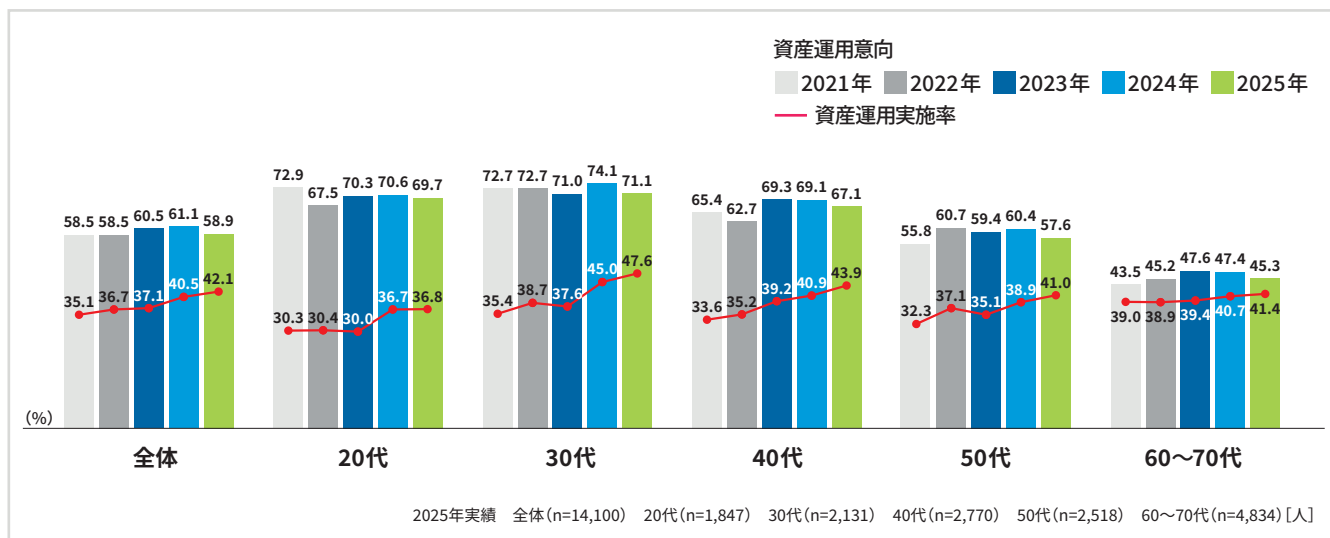
お金について

■資産運用の意向と実施状況



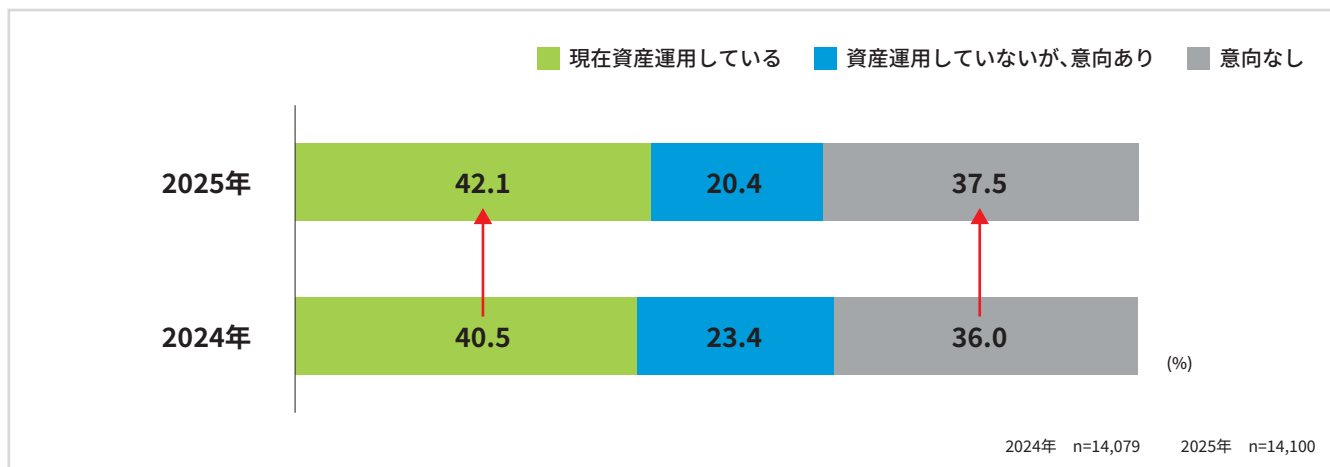
資産運用実施率は過去最高を更新 資産運用意向は、前年からやや減少傾向

資産運用実施率は42.1%で過去最高を更新し、30代、40代を中心にどの年代も引き続き増加傾向です。一方、資産運用意向は、20代、30代で70% 前後と高い水準ですが、前年までの増加傾向から、今回は全ての年代でやや減少傾向にあります。



資産運用に対する意識・行動が、二分化の兆し

資産運用の意向がありながら実施していない人は20.4%と前年よりやや減少。資産運用をしている人は微増傾向ですが、同時に運用意向なしと回答する率も増加傾向で、資産運用に対する意識・行動の二分化の兆しが見られます。



お金について

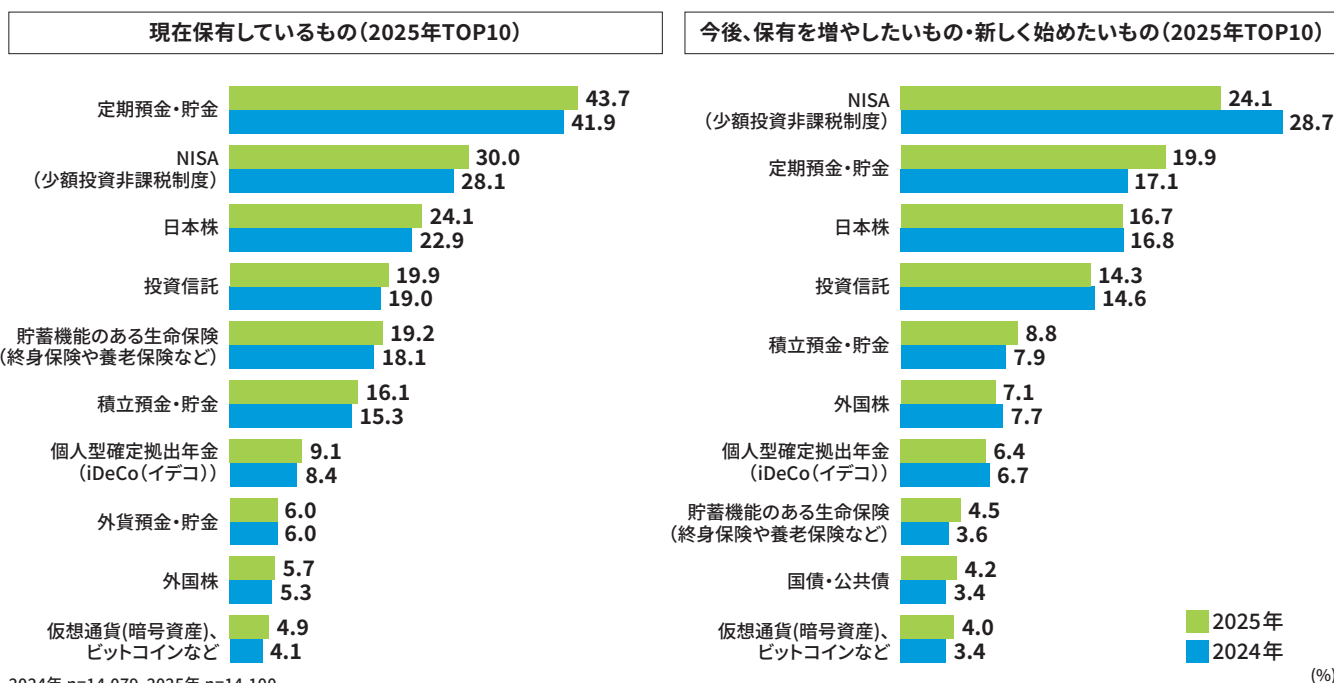
■今後増やしたい金融商品



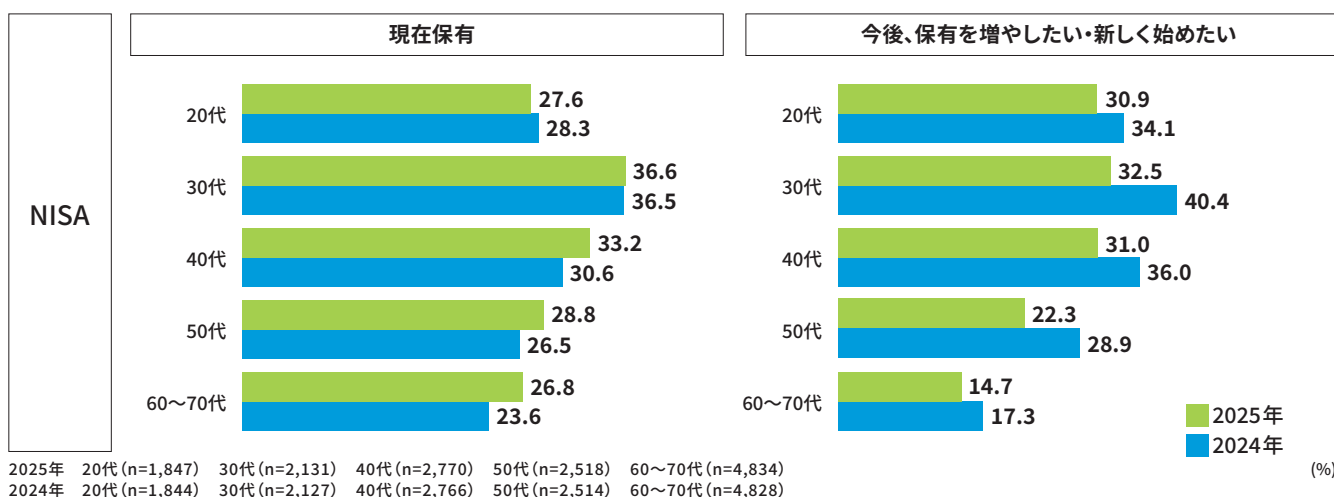
前年に続き、今後増やしたい金融商品のNISA支持は高い一方で、預貯金の意向が増加

現在保有は「定期預金・貯金」が最も高く（43.7%）、次いで「NISA」が30.0%。上位の商品の多くは前年より保有率が上昇しています。また、将来の意向として「NISA」が最も高い結果となりましたが、意向率は前年よりも減少傾向にあります。一方、意向率がNISAに次ぐ「定期預金・貯金」は、前年より増加傾向が見られます。

保有金融資産の種類と今後の意向



「NISA」の保有は30代で36.6%と最も高く、また、前年と比べて40代以上の年代で伸びが見られました。一方、今後増やしたいとの意向は20代から40代の若年層で3割台と、その上の年代よりも高い傾向が見られますが、前年と比べて全ての年代で減少しており、特に30代から50代でこの傾向が顕著に認められます。



お金について

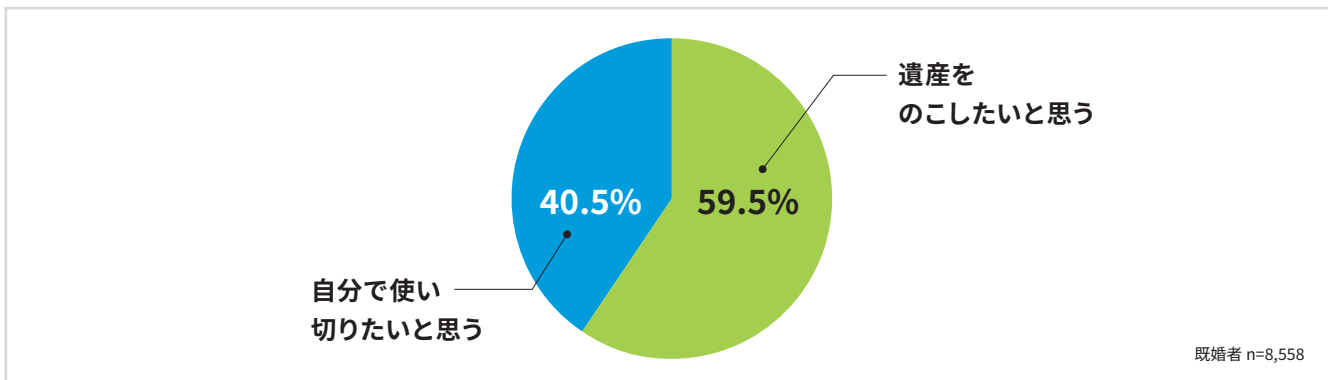
■相続についての意識・行動



遺産をのこしたいと約6割が回答し、
相続について家族と話しておくことが必要と過半数が答えた一方で、
実際に話をしたことがある人は少数派

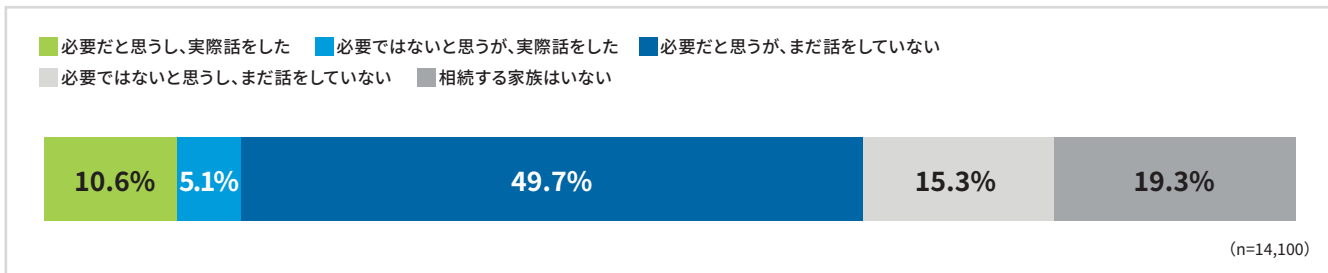
自分の資産や財産に関して、「子どもや家族に自分の遺産をのこしたいと思う」という回答は59.5%と、過半数を占めました。

資産承継意向



自分がなくなった後の相続について、家族と話しておくことは「必要だと思うが、まだ話をしていない」という回答が最も多く、全体の49.7%。「必要だと思うし、実際に話をした」人は10.6%と少数派です。

自分がなくなった後の相続について、家族と話しておくことに関する意識・行動



自分がなくなった後の相続について家族と話しておくことは「必要だと思うが、まだ話をしていない」という回答は高齢層の50～70代でも53.0%と、必要性を感じながら実行に移していない人が半数を超えています。

自分がなくなった後の相続について、家族と話しておくことは「必要だと思うが、まだ話をしていない」(年代別)



お金について

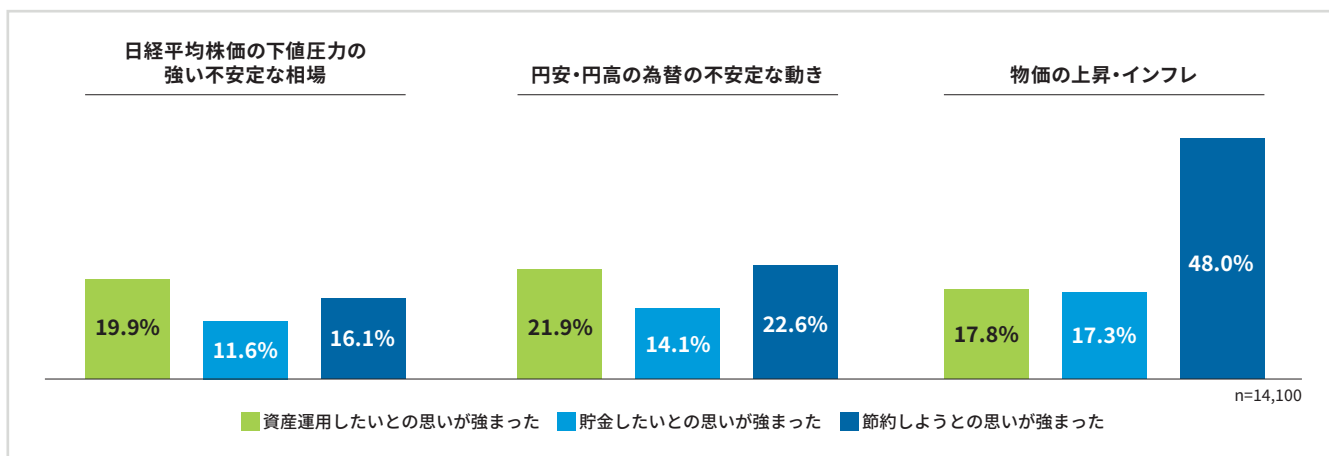
■昨今の経済・社会情勢に対する意識と資産運用意向



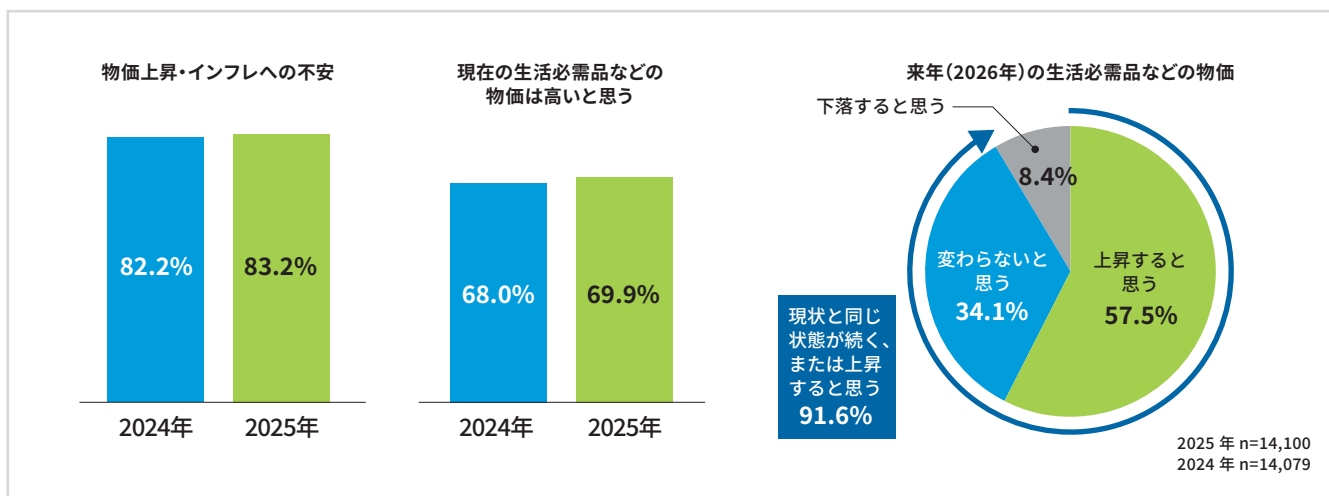
不安定な市場環境でも、資産運用への関心を強める人がある一方で、物価の上昇・インフレに対する不安は大きい

政治情勢、地政学リスク等の影響により、株式相場や為替の先行きを見通すことが困難な状況ですが、全体の約2割の人が資産運用への関心を強めています。一方で、物価の上昇・インフレに対しては節約への思いが強まったとの回答が約半数に達しました。

日経平均株価の下値圧力の強い不安定な相場 / 円安・円高の為替の不安定な動き / 物価の上昇・インフレによる意識の変化



物価上昇・インフレに対して不安と回答した人は83.2%、現在の物価が高いと感じている人は69.9%と、いずれも前年よりも上昇しています。また、2026年も同じ状態が続く、または上昇すると思うと回答した人は91.6%と、大多数の人がさらなる物価上昇を警戒する様子が伺えます。



お金について

■昨今の給与や賃上げに対する意識

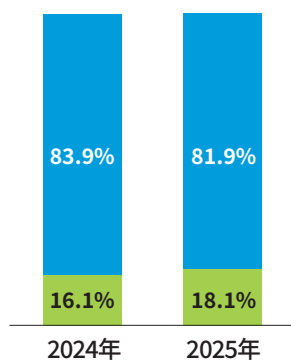


賃上げの実感は18%にとどまり、 現在の給与に約7割が満足していない結果に

実際に賃上げがあった人は就業者の26.1%、賃上げを実感している人は18.1%と、いずれも前年から微増傾向にあります。が、昇給・賃上げを享受していないと感じている人が大多数という結果になっています。また、来年昇給すると思う割合は17.8%と前年よりも減少しており、インフレ・物価高が続く中、難しい局面を迎えています。

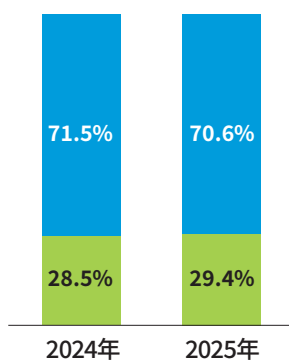
昇給(賃上げ)の実感

■ 実感していない
■ 実感している



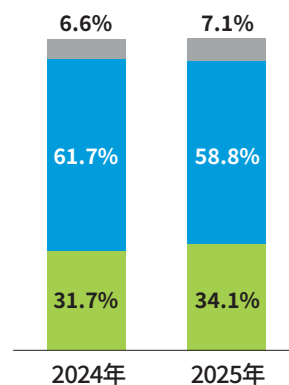
現在の給与への満足度

■ 現在の給与に満足していない
■ 現在の給与に満足している



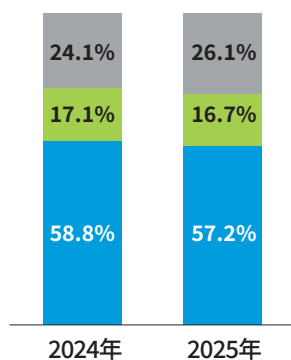
現在の給与・賃金

■ 高いと思う
■ 安いと思う
■ 適正だと思う



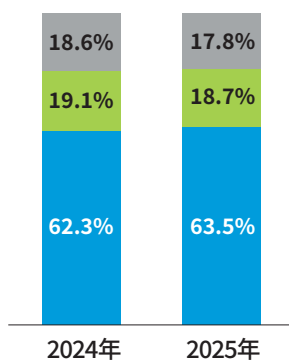
昇給(賃上げ)の有無

■ 昨年よりも上昇した
■ 昨年よりも下落した
■ 昨年と変わらなかった



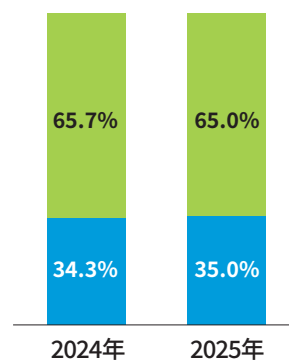
来年の賃金予想

■ 来年は上昇すると思う
■ 来年は下落すると思う
■ 現在と変わらないと思う



ボーナスの額アップの有無

■ 昨年比で増額しなかった(出なかったも含む)
■ 昨年比で増額した



就労者 2025年 n=8,374 2024年 n=8,004

お金について

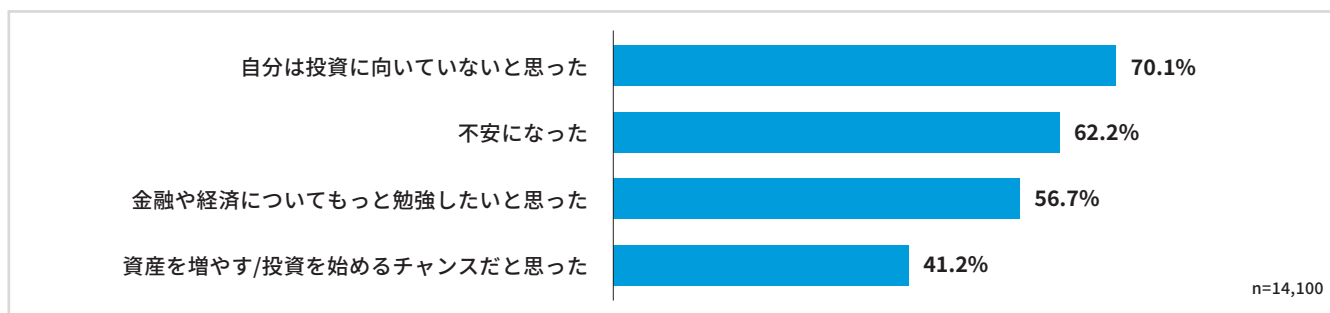
■相場の急変時の投資に対する意識



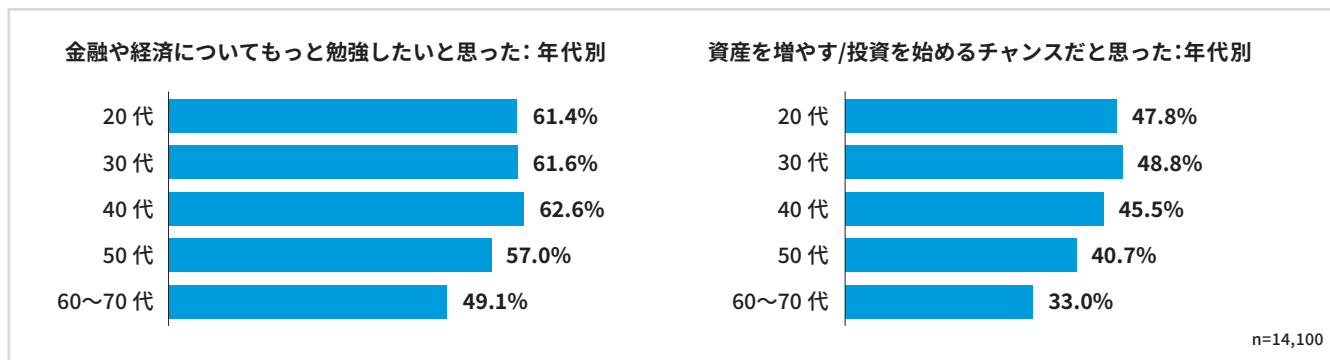
相場の急変で不安を感じる一方、 若年層を中心に、経済の勉強や投資のチャンスと捉える傾向も

2025年3月から4月にかけての相場の乱高下時に、全体の70.1%が「自分は投資に向いていないと思った」、62.2%が「不安になった」と回答し、投資への不安がうかがえます。その一方で、「金融や経済についてもっと勉強したいと思った」が56.7%、「資産を増やす/投資を始めるチャンスだと思った」が41.2%と、この状況を前向きにとらえる回答も見られます。

相場の急変時の投資に対する気持ち

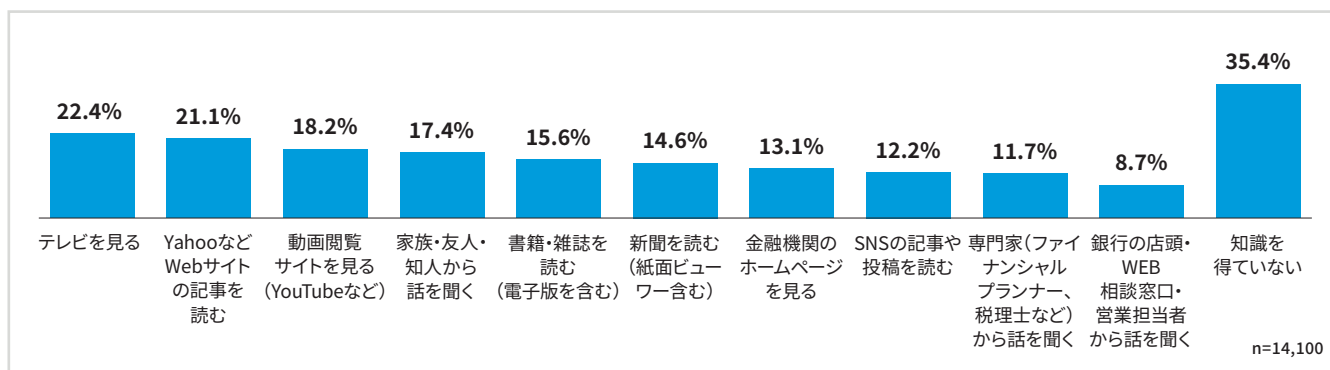


相場が乱高下した状況を「金融や経済についてもっと勉強したいと思った」、「資産を増やす/投資を始めるチャンスだと思った」という回答は、高齢層より20代、30代の若年層で多く聞かれています。



市場や金融の知識を得る主だった方法として、「Webサイトの記事を読む」、「動画閲覧サイトを見る」、「SNSの記事や投稿を読む」などインターネットを介した方法が、テレビ、書籍・雑誌、新聞の従来メディアに匹敵する結果となっています。

市場や金融の知識を得る方法



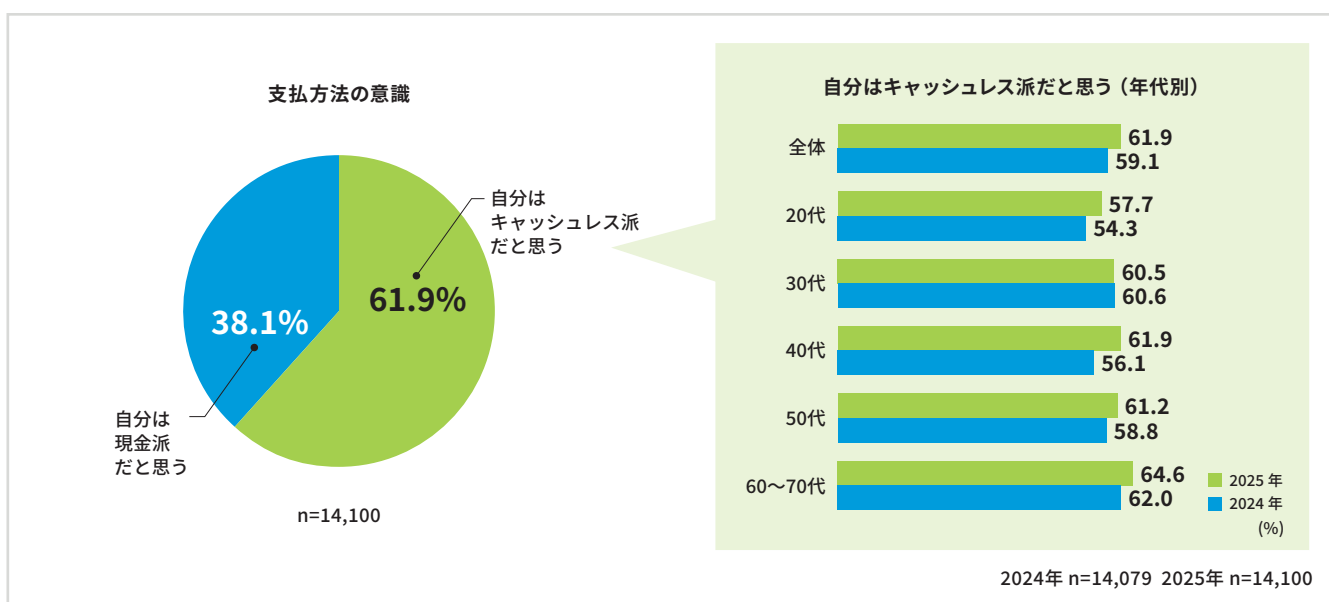
お金について

■決済方法や財布の持ち歩きに対する意識

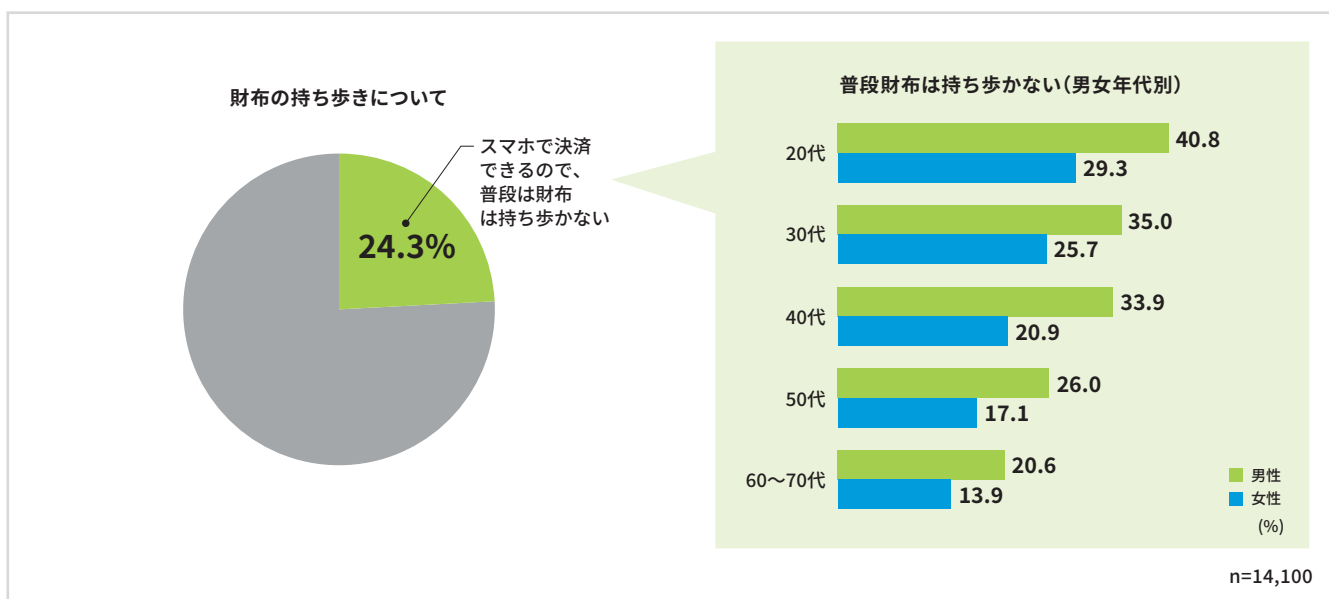


高齢層も含め、キャッシュレス化が進む 20代男性では普段から財布を持たない人が4割を超えた

自分はキャッシュレス派だと思う人は全体の61.9%と多数派で、高齢層も含め、前年よりもキャッシュレス化が進んでいることがうかがえます。



全体の4人に1人は普段から財布を持ち歩かず、男女別では男性の方が女性よりも財布を持ち歩かない傾向が見られました。特に男性20代では4割強の人が財布を持ち歩いていないと答えています。



健康について

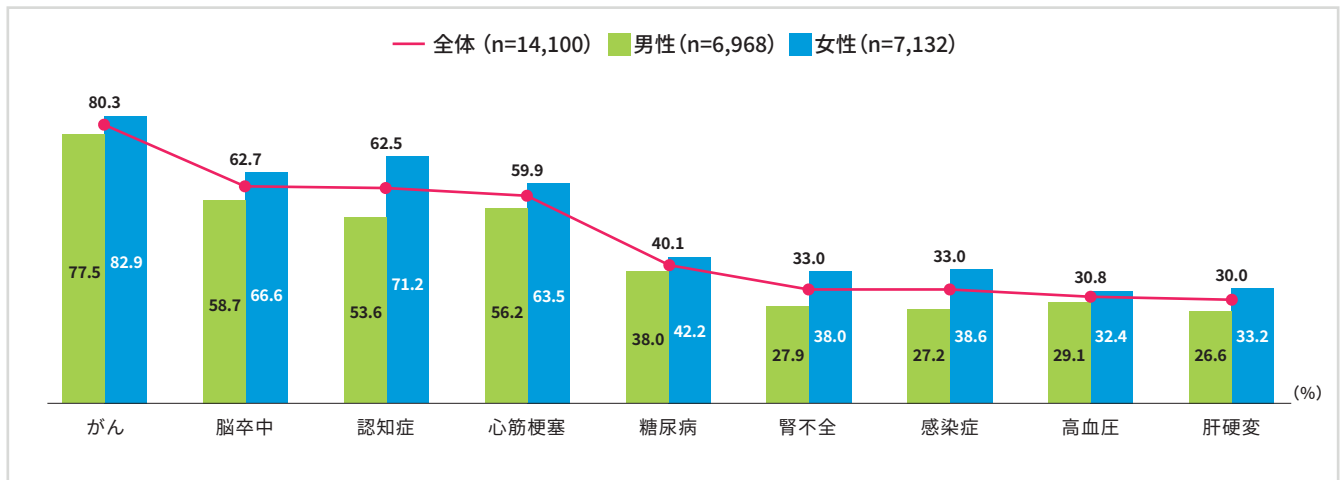
■怖い病気・がんへの不安



怖いと感じている病気は、「がん」が80.3%と最も高く、次いで「脳卒中」、「認知症」、「心筋梗塞」と続く

女性は男性と比べていずれの病気も怖いと感じる割合が高く、特に「認知症」、「感染症」、「腎不全」ではその傾向が顕著です。

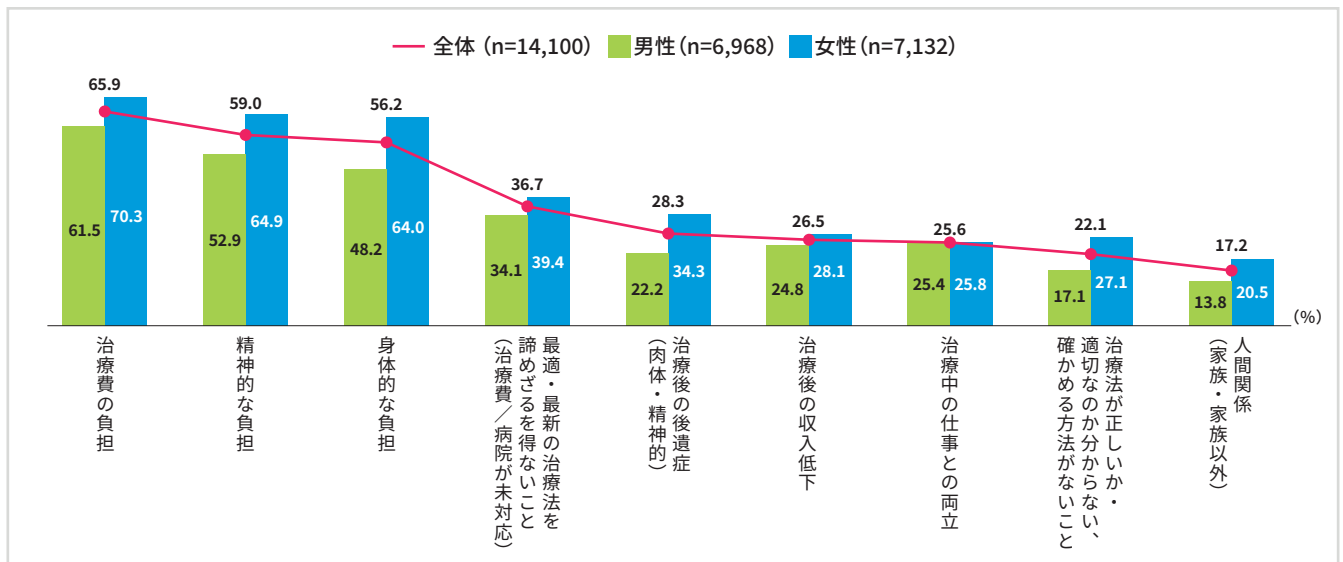
怖いと感じている病気について



がんに罹患した場合の不安は「治療費の負担」が最も大きい

精神的・肉体的な負担に加えて、治療費や最適・最新の治療法を諦めざるを得ないことも不安に感じられており、特に女性は男性よりも不安を感じる割合が高いです。それ以外でも、「後遺症」や「治療法が正しいか確かめる方法がないこと」についても、女性は男性と比べて不安に感じています。

がんにかかったとしたら、不安なこと・不安になりそうなこと



健康について

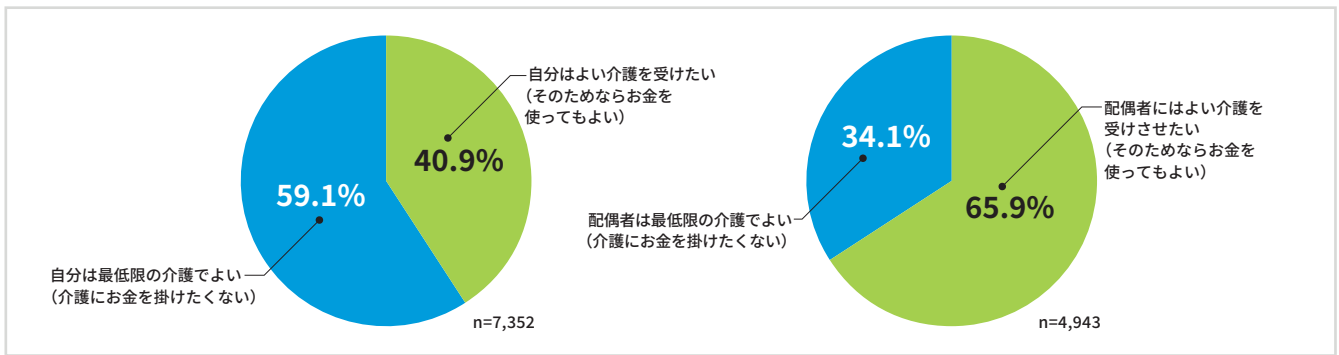
■介護とお金



「自分は最低限の介護でよい」が、 「配偶者には良い介護を受けさせたい」意向が認められる

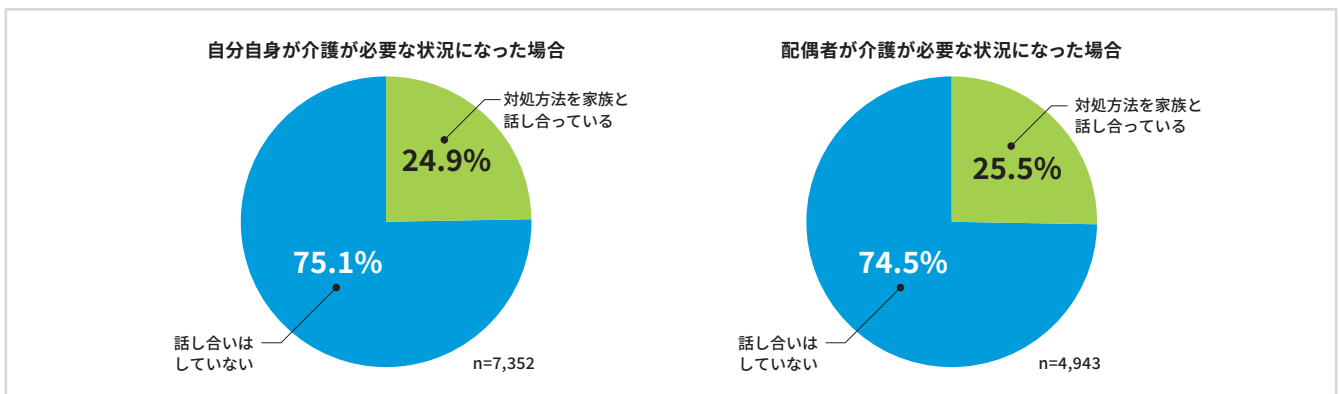
自分の介護にはお金を掛けたくないという意見のほうが多い一方で、配偶者にはお金を使ってもよい介護を受けさせたいと65.9%の方が答えています。

50代～70代の介護意向



自身、配偶者ともに介護が必要な状況になった場合の対処方法について、家族と話し合いをされている方はそれぞれ3割未満(自分自身24.9%、配偶者25.5%)と、話し合っていない方はまだ少ないようです。

介護になった場合の対処方法についての話し合いの状況(50代～70代)



教育について

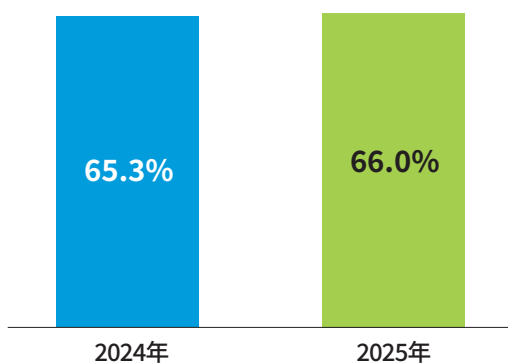
■教育費に対する意識



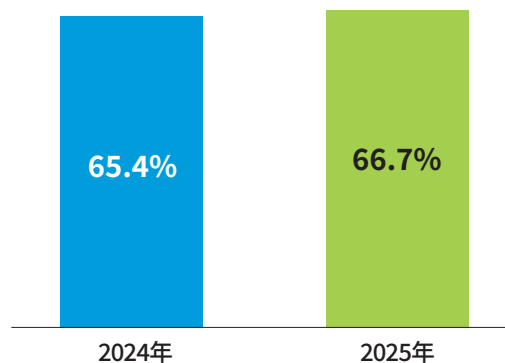
お金と学歴の関連性への意識がさらに上昇 教育費を負担に感じる様子がうかがえる結果に

親の年収や教育にかかる費用と子どもの学歴が比例するとの意見が多く、お金と学歴の関連性が意識されています。また、その意識は昨年よりもさらに高まっています。

教育にかかる費用と子どもの学歴は比例すると思う



親の年収と子どもの学歴は比例すると思う

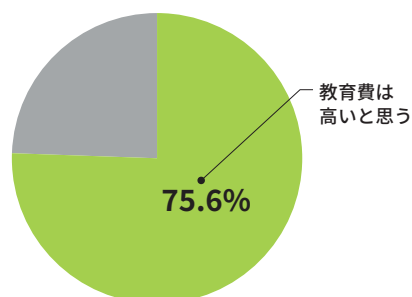


既婚かつ同居末子が大学以下の家庭(2024年n=2,963 2025年n=3,298)

子どもの教育に必要だと思う金額(平均)



教育費に対する意識



既婚かつ同居末子が大学以下の家庭(n=3,298)

環境について

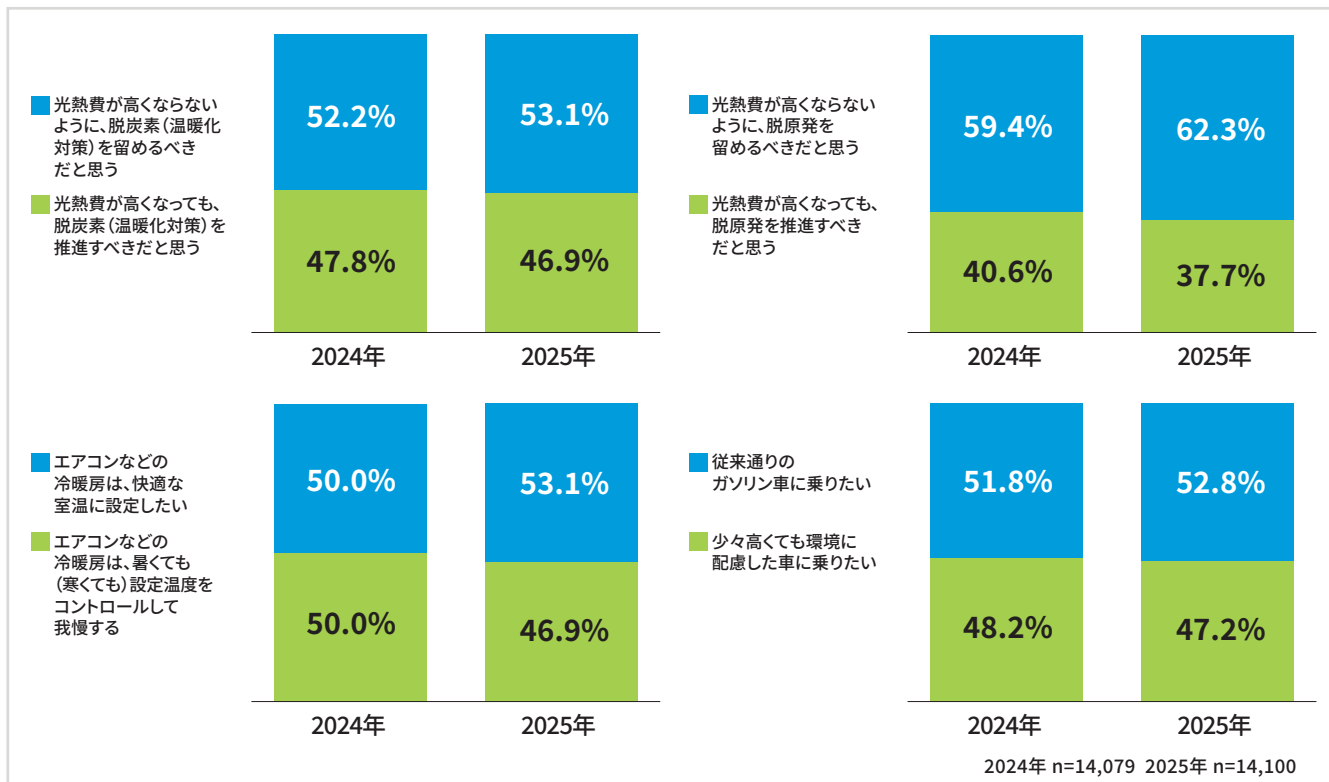
■環境コストへの意識



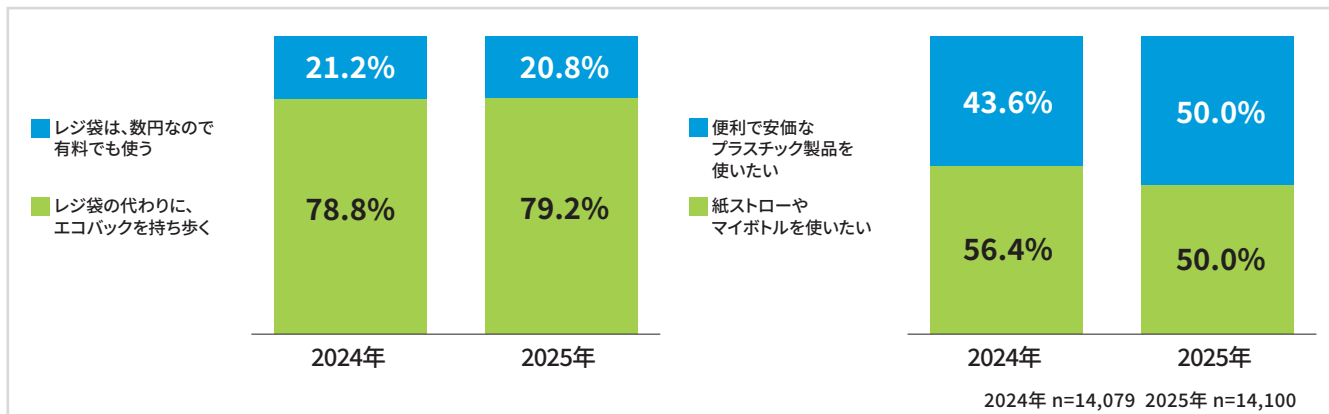
普段の生活における環境への意識は昨年とほぼ同水準だが、若干の後退感

79.2%がエコバックを使う、50.0%が紙ストローやマイボトルを使いたいといった回答から、環境問題への高い意識が見て取れます。また家計に大きな影響のある項目は、将来の環境への配慮よりも、今の快適さを好む結果となりました。

家計に大きな影響があるもの



少額で家計への影響が少ないもの

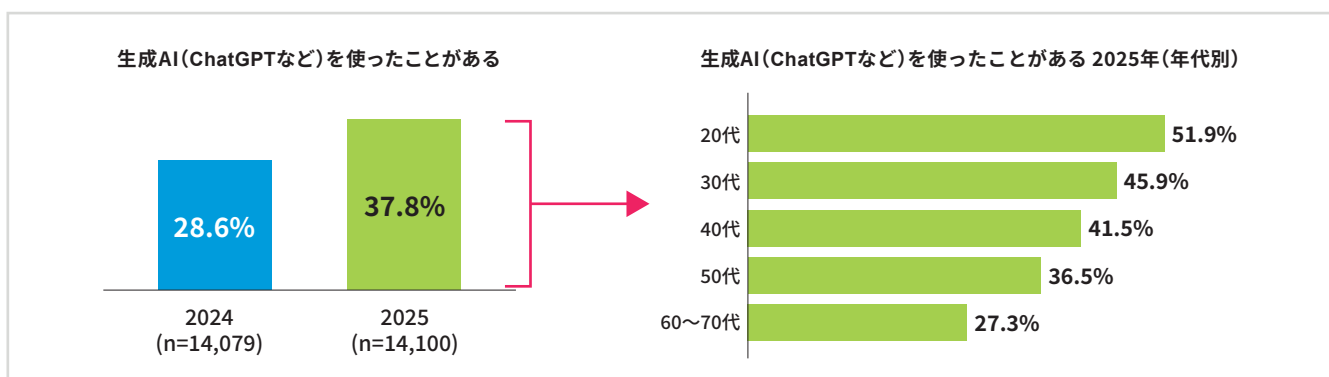


AIの使用に関する意識について

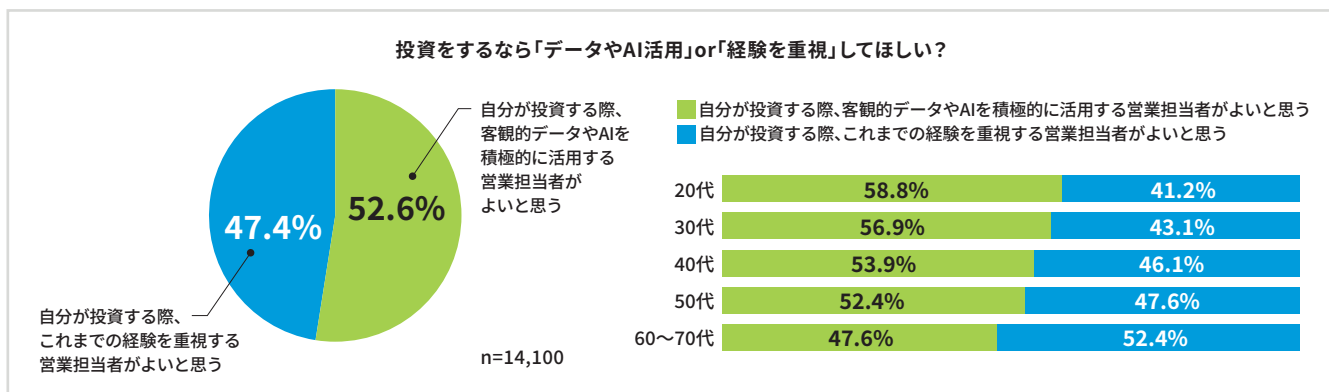
■AIの使用に関する意識

 AIの使用に関する意識は、若年層程高く、高齢層は人の介在を好む一方で、高齢層も約4割がAIへの期待を見せる

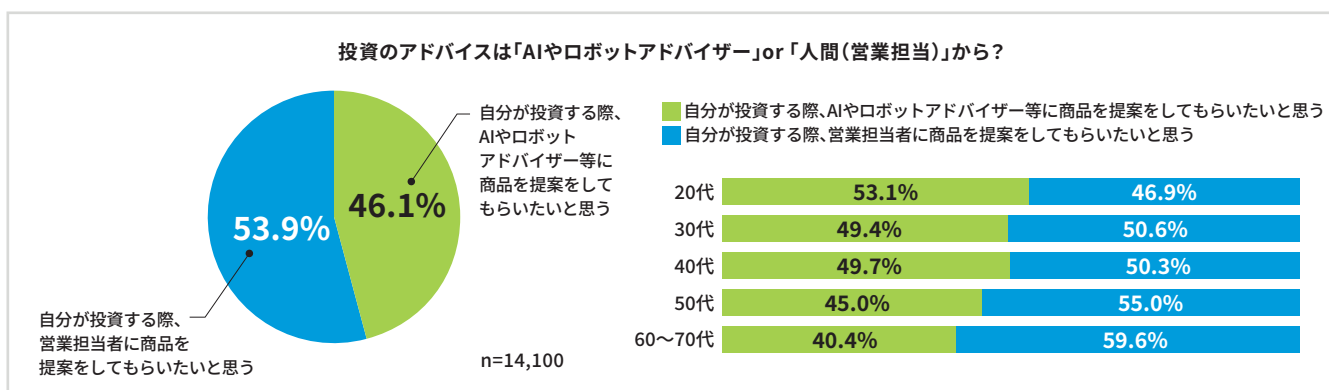
生成AIを使用したことがある人の割合は前年から大きく増加しました。特に若年層ほど高く、20代では使用率が5割を超えています。



若年層は高齢層よりも、投資をする際に「客観的データやAIを活用する営業担当」をよいと思い、一方、高齢層は若年層よりも「これまでの経験を重視する営業担当」を支持する傾向が見られます。



若年層では、「AIやロボットアドバイザー等に商品を提案してもらいたい」という人が半数を超えています。60~70代の約6割は投資をする際に「営業担当に商品を提案してもらいたい」と回答しています。



マイナンバーカードについて

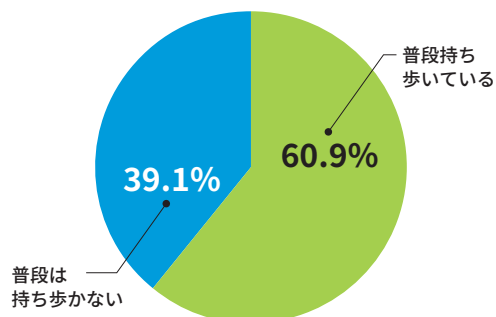
■マイナンバーカードに関する意識



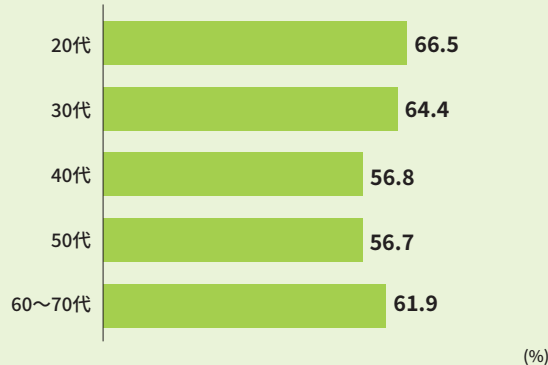
約6割が携帯しているマイナンバーカード、 持ち歩きや便利さの実感は30代以下で高い

マイナンバーカード保有者で「普段持ち歩いている」人は60.9%。年代別では、20代が66.5%、30代が64.4%と若年層の持ち歩き率が高く、次いで60～70代の61.9%と続きます。

マイナンバーカードを普段持ち歩くか



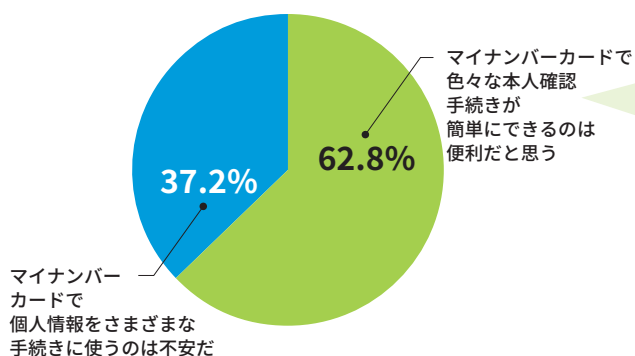
マイナンバーカードを普段持ち歩いている(年代別)



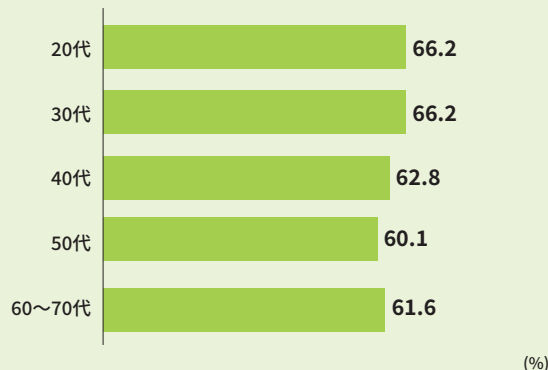
マイナンバーカード保有者 (n=12,272)

62.8%の人が、マイナンバーカードで色々な本人確認手続きが簡単にできることについて「便利だと思う」と回答しており、特に20代、30代では「便利だと思う」人がその上の年代よりも多い傾向が見られます。

マイナンバーカードで本人確認手続きをすることについて



マイナンバーカードで色々な本人確認手続きが簡単にできるのは便利(年代別)



マイナンバーカード保有者 (n=12,272)

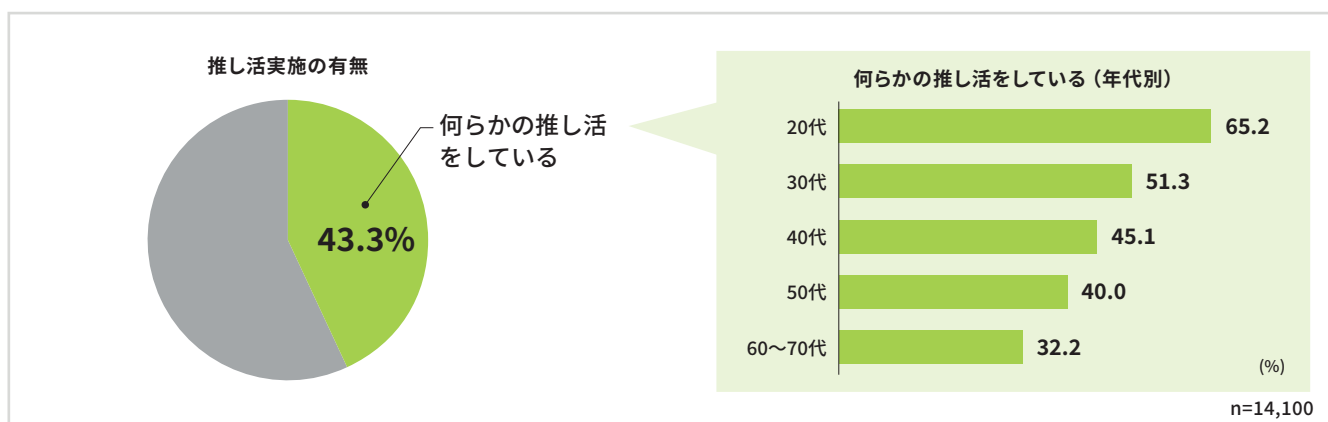
推し活について

■推し活への意識



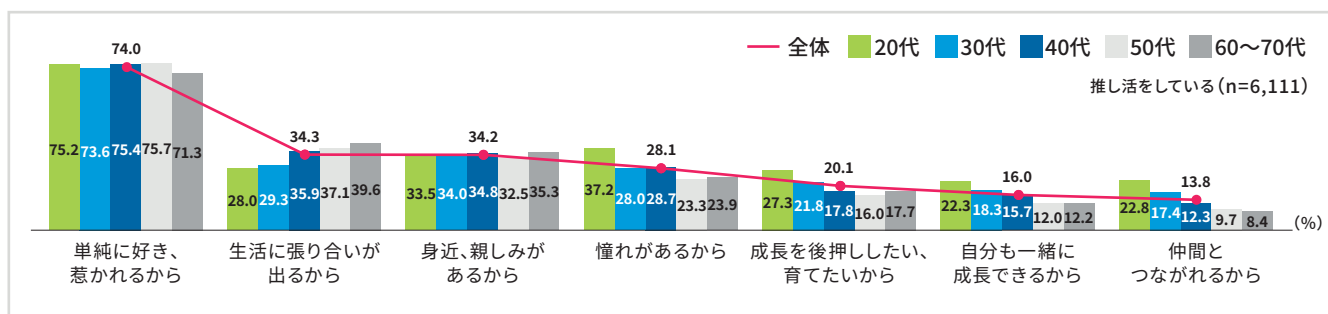
全体では4割強、20代では3人に2人が「推し」がいると回答

全体の43.3%が応援する「推し」がいると回答。若年層ほど推し活をしている割合が高く、20代では65.2%が推し活をしている状況です。



「推し」を選んだ最も大きな理由は「単純に好き、惹かれるから」で全体の74%。20代は上の年代よりも、「憧れ」、「成長を後押ししたい」、「自分と一緒に成長できる」、「仲間とつながれる」などを回答する割合が高く、一方、高齢層では「推し」を選んだ理由に「生活に張り合いが出る」と答える率が高いという結果になっています。

推しを選んだ理由



推し活にける年間の平均金額は8.9万円。最も金額が高かったのは20代で、年間13.5万円使っているという結果でした。

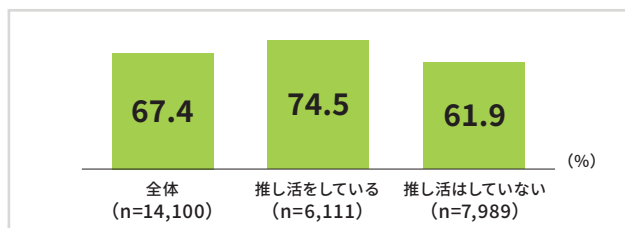
推し活に1年間で使う平均金額（万円）

全体	20代	30代	40代	50代	60～70代
8.9	13.5	9.5	7.9	6.5	7.4

推し活をしている人 (n=6,111)

推し活をしている人はしていない人よりも、資産運用への学習意欲が高いという傾向が見られました。

推し活実施の有無別の資産運用への学習意欲



47 都道府県版



今回の調査の主な設問項目の全国47都道府県別のTOP3と、各県ごとの一覧表をまとめました。

※ 全国47 都道府県大調査 2025 年は、日本の性・年代構成の実勢に沿って調査結果を回収し、集計を行っています。

社会情勢の変化に対する備えの対象として、資産運用やAIの使用に注目して調査した結果、47都道府県それぞれに特徴がみられました。資産運用に関する意向・状況では、資産運用実施率、NISA実施率など複数の項目で滋賀県と徳島県が上位に入っています。

資金準備を開始(予定)している中で、最重要と思うもの

老後生活 (%)			子ども・孫の教育 (%)			投資・運用 (%)		
全国平均	39.8		全国平均	11.2		全国平均	10.7	
1	奈良県	49.1	1	和歌山県	22.2	1	石川県	16.2
2	宮城県	46.7	2	佐賀県	18.9	2	栃木県	15.3
3	大分県	45.2	3	青森県	16.5	3	鹿児島県	14.9

n=9,849

資産運用に関する意向・状況

	資産運用を行いたい (%)		現在、資産運用を行っている (%)		NISA認知率 (%)		NISA実施率 (%)		NISA意向 (保有を増やしたい、 新たに始めたい) (%)	
全国平均	58.9		42.1		67.0		30.0		24.1	
1	福井県	72.1	徳島県	52.9	滋賀県	79.6	滋賀県	38.7	沖縄県	33.7
2	沖縄県	68.5	滋賀県	51.4	福井県	74.4	徳島県	38.6	高知県	31.3
3	徳島県	67.1	神奈川県	48.9	愛媛県	73.8	島根県	36.4	島根県	30.3

n=14,100

キャッシュレス

「自分をキャッシュレス派だと思う」という回答が50%を超えたのは45都道府県で、キャッシュレス化の傾向が全国で進んでいることが認められます。「自分はキャッシュレス派だと思う」の1位は山梨県、2位は沖縄県と、インバウンドを含め観光客が多い県が上位に入っています。沖縄県は「普段財布を持ち歩かない」でも上位に入っています。

自分はキャッシュレス派だと思う (%)		
全国平均	61.9	
1	山梨県	72.3
2	沖縄県	70.8
3	和歌山県	68.8

n=14,100

45都道府県
で50%超

財布の持ち歩き

スマホで決済できるので、普段は財布を持ち歩かない (%)		
全国平均	24.3	
1	福井県	33.7
2	沖縄県	31.5
3	山口県	30.2

n=14,100

47 都道府県版

就業している人の給与・賃金の意識

	給与・賃金は、 昨年と比較し増加した (%)		世間で言われているような 昇給(賃上げ)を実感している (%)		現在の給与に 満足している (%)		来年の給与・賃金は、 上昇すると思う (%)	
全国平均	26.1		18.1		29.4		17.8	
1	秋田県	37.5	佐賀県	28.8	石川県	44.4	島根県	34.8
2	福井県	35.8	福井県	26.4	鳥取県	42.5	福井県	26.4
3	長野県	33.3	群馬県	26.2	京都府	34.8	高知県	26.3

就業者 (n=8,374)

夫婦・家庭におけるお金の話題・資産承継意向

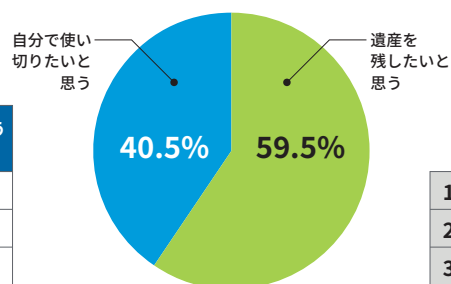
「投資や資産運用などの話を家族としている」という回答は、ほとんどの都道府県で半数に満たず、お金に関してあまり家族で話し合われていないようです。

夫婦・家庭におけるお金の話題

	投資や資産形成等、 お金に関する話を家族と している TOP3 (%)	
全国平均	39.9	
1	滋賀県	51.6
2	沖縄県	48.1
3	愛媛県	47.7

資産承継意向

	資産を使い切りたいと思う TOP3 (%)	
1	高知県	53.7
2	大分県	52.7
3	鳥取県	50.0

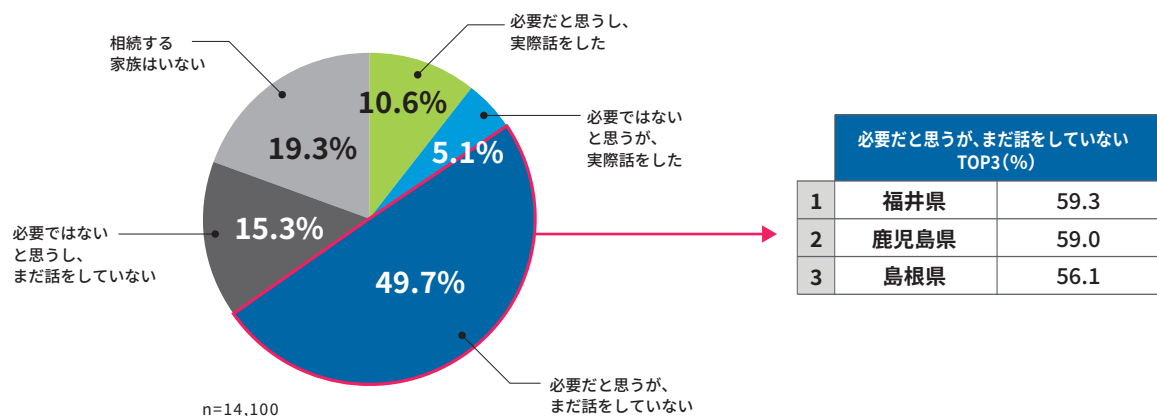


	遺産を残したいと思う TOP3 (%)	
1	和歌山県	74.5
2	滋賀県	73.7
3	石川県	69.8

既婚者 (n=8,558)

自分がなくなった後の相続に関する家族との話し合い

自分がなくなった後の相続に関する家族との話し合いに関しては「必要だと思うがまだ話をしていない」という割合が全ての都道府県で最も多く、その回答は全体の約6割の県で半数を超えています。



	必要だと思うが、まだ話をしていない TOP3 (%)	
1	福井県	59.3
2	鹿児島県	59.0
3	島根県	56.1

47 都道府県版

AIの使用

投資の際に、沖縄県は「AIやロボットアドバイザー等に提案してもらいたい」、「客観的データやAIを活用する営業担当がよい」という項目で1位に、一方、北海道は「営業担当者に提案してもらいたい」が3位、「これまでの経験を重視する営業担当がよい」が1位と、日本の南と北で意識の差が見られました。

生成AIの使用

	生成AI(chatGPTなど)を使ったことがある TOP3(%)	
全国平均	37.8	
1	埼玉県	43.3
2	神奈川県	43.1
3	福井県	43.0

投資する際に、AIやロボットアドバイザーに提案してもらいたい、 営業担当者に提案してもらいたい

	自分が投資する際、 AIやロボットアドバイザー等に 商品提案してもらいたいと思う TOP3(%)	
全国平均	46.1	
1	沖縄県	58.4
2	滋賀県	52.8
3	島根県	51.5

	自分が投資する際、 営業担当者に 商品提案してもらいたいと思う TOP3(%)	
全国平均	53.9	
1	鳥取県	66.2
2	香川県	65.9
3	北海道	62.5

n=14,100

投資する際によいのは、客観的データやAIを活用する営業担当か、 これまでの経験を重視する営業担当か

	自分が投資する際、 客観的データやAIを積極的に 活用する営業担当がよいと思う TOP3(%)	
全国平均	52.6	
1	沖縄県	67.4
2	福井県	62.8
3	徳島県	60.0

	自分が投資する際、 これまでの経験を重視する 営業担当がよいと思う TOP3(%)	
全国平均	47.4	
1	北海道	56.1
2	岩手県	55.8
3	奈良県	54.1

n=14,100

マイナンバーカードの使用・意識

「マイナンバーカードを普段持ち歩いている」のTOP3は佐賀県、鹿児島県、鳥取県で、また、「マイナンバーカードで色々な本人確認手続きが簡単にできるのは便利だと思う」のTOP3は徳島県、長崎県、島根県と、マイナンバーカードの持ち歩きや利用の意識に関して、西日本で高い傾向が見られます。

マイナンバーカードの持ち歩き

	マイナンバーカードを普段 持ち歩いている TOP3(%)	
全国平均	60.9	
1	佐賀県	80.6
2	鹿児島県	71.3
3	鳥取県	69.0

マイナンバーカードで 本人確認手続きをする意識

	マイナンバーカードで 色々な本人確認手続きが 簡単にできるのは便利だと思う TOP3(%)	
全国平均	62.8	
1	徳島県	72.4
2	長崎県	72.1
3	島根県	71.4

マイナンバーカード保有者 (n=12,272)

47 都道府県版



全国47都道府県での各項目のスコアを並べてみました。

		資産運用に関する意向・状況			相続の話	AIの使用・意識			その他
		資産運用を行いたい (%)	現在資産運用を行っている (%)	NISA意向 (保有を増やしたい、新たに始めたい) (%)	自身が亡くなった後の相続について、必要だと思うが、まだ家族と話をしていない (%)	生成AI (chatGPTなど)を使ったことがある (%)	自分が投資する際、AIやロボットアドバイザー等に商品提案してもらいたいと思う (%)	自分が投資する際、客観的データやAIを積極的に活用する営業担当者がよいと思う (%)	自分はキャッシュレス派だと思う (%)
(人)									
全体	14,100	58.9	42.1	24.1	49.7	37.8	46.1	52.6	61.9
北海道	594	53.2	35.4	23.1	45.3	29.3	37.5	43.9	59.4
青森県	139	48.9	30.9	18.7	48.2	33.8	50.4	54.7	56.1
岩手県	120	53.3	32.5	20.0	46.7	31.7	44.2	44.2	50.8
宮城県	291	56.0	37.8	23.0	51.5	36.8	39.9	46.0	59.1
秋田県	106	50.0	34.9	19.8	54.7	25.5	50.0	52.8	60.4
山形県	125	51.2	28.8	24.0	52.0	35.2	47.2	47.2	56.0
福島県	178	53.4	36.5	20.2	53.4	30.9	39.9	50.6	53.9
茨城県	263	57.8	36.5	22.4	44.9	39.9	47.1	50.2	65.4
栃木県	188	53.7	35.1	20.2	47.9	34.6	42.6	46.3	58.5
群馬県	167	60.5	37.7	26.9	53.3	34.1	40.7	47.9	62.3
埼玉県	846	62.8	45.9	26.5	47.4	43.3	50.2	54.4	63.8
千葉県	716	63.4	45.4	23.7	50.8	40.2	48.0	58.0	64.8
東京都	1,619	66.0	48.6	27.9	46.2	42.7	50.5	57.0	65.8
神奈川県	1,178	63.2	48.9	25.1	52.9	43.1	48.7	55.0	64.7
新潟県	250	50.4	32.4	21.6	48.4	36.0	40.8	47.6	57.6
富山県	116	60.3	44.8	20.7	50.9	31.0	42.2	50.0	67.2
石川県	136	55.1	45.6	28.7	55.1	38.2	42.6	53.7	52.9
福井県	86	72.1	44.2	27.9	59.3	43.0	51.2	62.8	68.6
山梨県	83	55.4	42.2	27.7	45.8	33.7	47.0	47.0	72.3
長野県	177	56.5	47.5	26.6	49.2	35.6	46.9	50.8	64.4
岐阜県	238	57.6	35.7	19.7	52.1	31.9	43.7	49.2	62.6
静岡県	391	58.1	45.0	24.0	50.6	37.6	42.5	49.9	64.5
愛知県	842	58.8	45.6	24.7	50.8	39.7	47.0	52.6	65.6
三重県	229	52.4	39.3	16.6	53.3	32.8	43.7	50.7	59.8
滋賀県	142	66.9	51.4	23.9	53.5	43.0	52.8	57.7	68.3
京都府	266	56.4	42.5	23.3	49.6	37.2	46.2	51.9	60.9
大阪府	992	57.0	38.6	22.7	46.4	36.2	44.8	50.5	61.5
兵庫県	660	58.2	42.3	22.4	50.2	39.4	47.7	57.9	60.9
奈良県	146	57.5	37.7	24.7	49.3	32.2	39.7	45.9	58.9
和歌山県	77	51.9	32.5	15.6	46.8	33.8	46.8	48.1	68.8
鳥取県	65	60.0	32.3	18.5	50.8	26.2	33.8	52.3	58.5
島根県	66	56.1	43.9	30.3	56.1	39.4	51.5	59.1	68.2
岡山県	216	53.7	42.1	25.5	51.9	32.9	41.2	47.7	58.8
広島県	330	55.2	38.8	25.2	52.4	35.2	44.8	52.1	55.8
山口県	116	57.8	44.8	24.1	51.7	32.8	47.4	47.4	63.8
徳島県	70	67.1	52.9	25.7	51.4	28.6	44.3	60.0	47.1
香川県	129	51.9	35.7	23.3	55.8	27.1	34.1	48.1	55.8
愛媛県	141	56.7	36.2	19.9	52.5	34.0	43.3	51.8	60.3
高知県	64	59.4	42.2	31.3	46.9	40.6	40.6	48.4	67.2
福岡県	702	56.6	39.3	23.5	50.7	36.0	46.0	51.0	59.3
佐賀県	79	49.4	25.3	15.2	45.6	34.2	46.8	57.0	40.5
長崎県	156	57.1	41.7	21.8	54.5	33.3	44.2	51.9	59.6
熊本県	164	57.3	40.2	24.4	51.8	39.0	47.0	46.3	60.4
大分県	125	57.6	40.8	19.2	44.8	34.4	38.4	52.8	58.4
宮崎県	97	52.6	39.2	20.6	42.3	39.2	49.5	51.5	51.5
鹿児島県	156	60.3	42.3	28.2	59.0	40.4	47.4	58.3	54.5
沖縄県	89	68.5	39.3	33.7	47.2	41.6	58.4	67.4	70.8

